

【マグネシウム・ミニランタン 関連記事】

水に浸して点灯 災害時電灯備蓄

木津川市

木津川市は6日、災害時に明かりを確保するため、マグネシウム式懐中電灯100個を購入し、備蓄したと発表した。電源はマグネシウム電池で水溶液に反応させて点灯。手のひらに収まるコンパクトサイズで、長期保存に適している。

東通工(横浜市)が製作した。製品名はマグネシウム・ミニラン

タン。電池の底部にスポイトなどで約2ccの水を注入するか、水を張った小皿に浸せば点灯する。泥水や酒、汚水、下水でも反応する。1個1480円。予備電池は580円。1回反応すると最低72時間は点灯し、明かりが弱くなると水を足

したり、場合によっては電池を交換する。高温でなければ数年間は使用できるという。

【南良靖雄】



木津川市が備蓄するマグネシウム・ミニランタン。木津川市で